
入間市立西武中学校校舎建替え工事 基本構想

令和6年5月
入間市教育委員会

目次

1. 敷地条件	
(1) 敷地概要	1
(2) 周辺環境	2
(3) 既存校舎等の概要	4
2. 計画条件	
(1) 計画概要	10
(2) 生徒数推計	10
(3) 計画施設の予定規模	10
(4) 法規制等の条件	11
3. 基本構想	
(1) 目指すべき学校施設と整備方針	12
(2) 新しい時代の学び舎のグランドデザイン	12
4. 与条件の整理	
(1) 基本条件	14
(2) 必要諸室の構成及び規模	16
5. 建替えスケジュール（案）	18

1. 敷地条件

(1) 敷地概要

所在地：入間市大字仏子960番地1

敷地面積：31,652㎡

西武池袋線仏子駅から近く、住宅街に位置しています。前堀川を挟み東西に敷地が分かれており、西側敷地は口の字型に校舎、屋内運動場、プールが配置されています。東側敷地は第2グラウンドとして使用しており、部室が配置されています。

【位置図】



(2) 周辺環境

ア 周辺道路

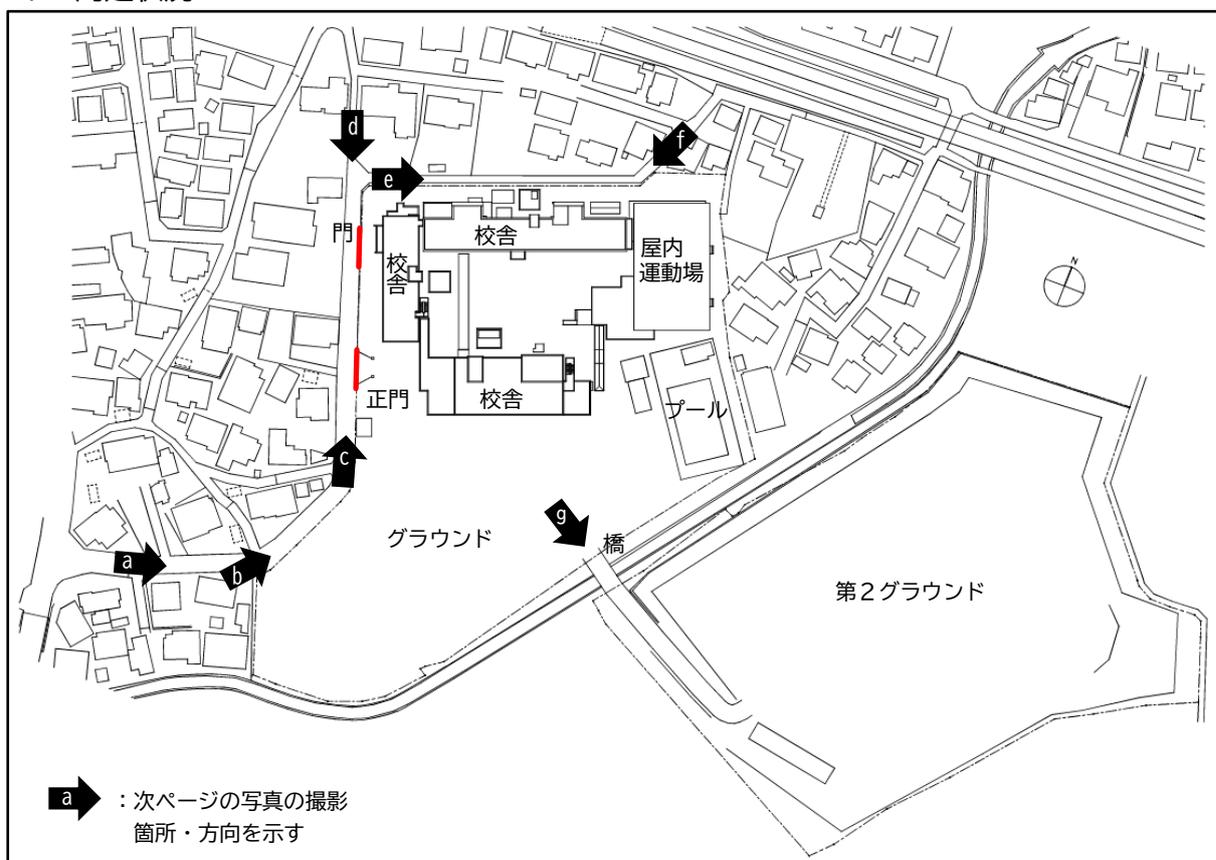
北側：建築基準法第42条2項道路

東側：近隣住宅に面している。

西側：建築基準法第42条1項1号道路 正門と通用門がある。

南側：前堀川があり、第2グラウンドへ向かう橋が設置されている。

イ 周辺状況



a : 西武中学校へ至る道路



b : 西武中学校へ至る道路



c : 敷地西側の道路



d : 敷地西側の道路



e : 敷地北側の道路



f : 敷地北側の道路



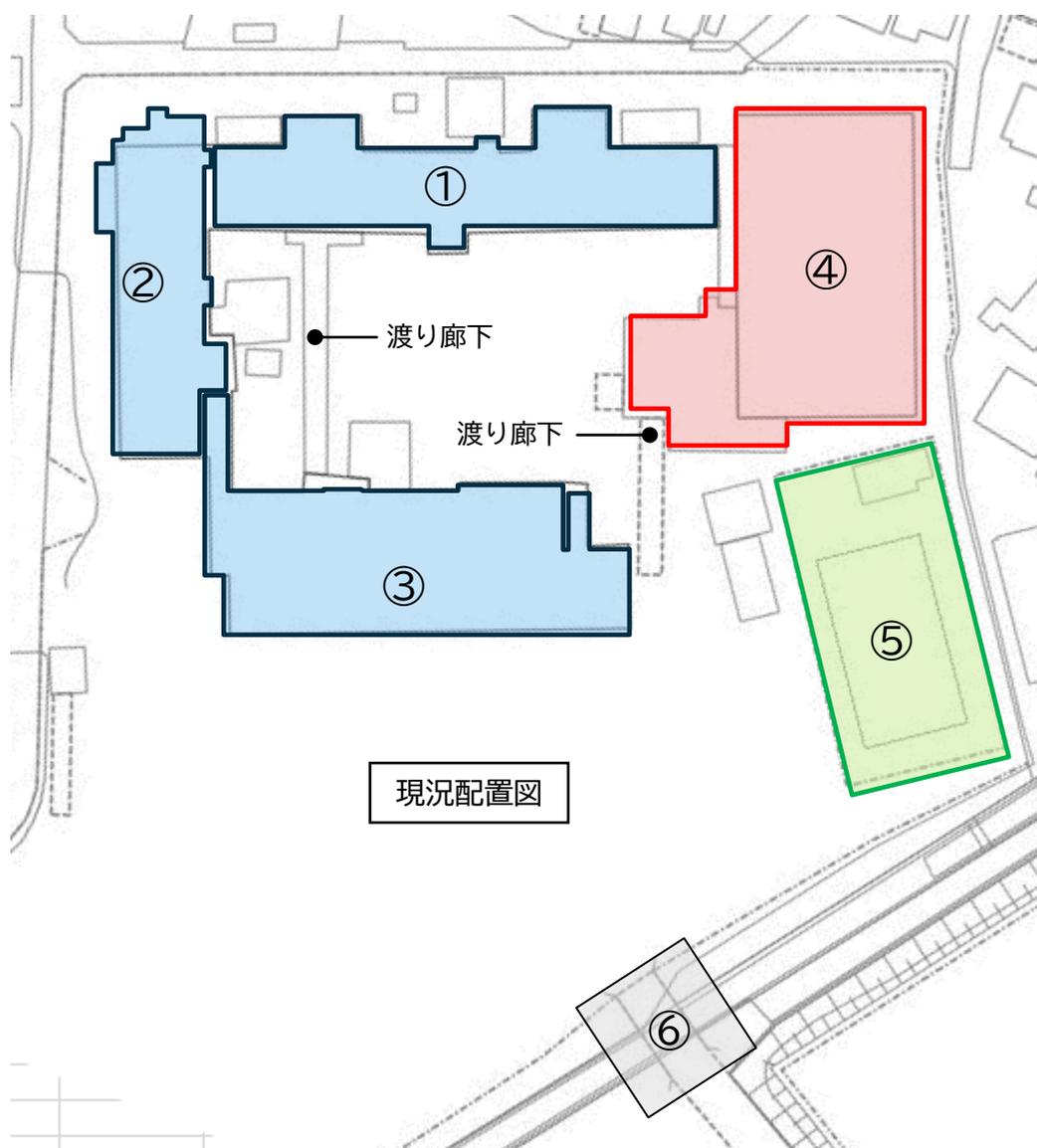
g : 敷地内の橋



(3) 既存校舎等の概要

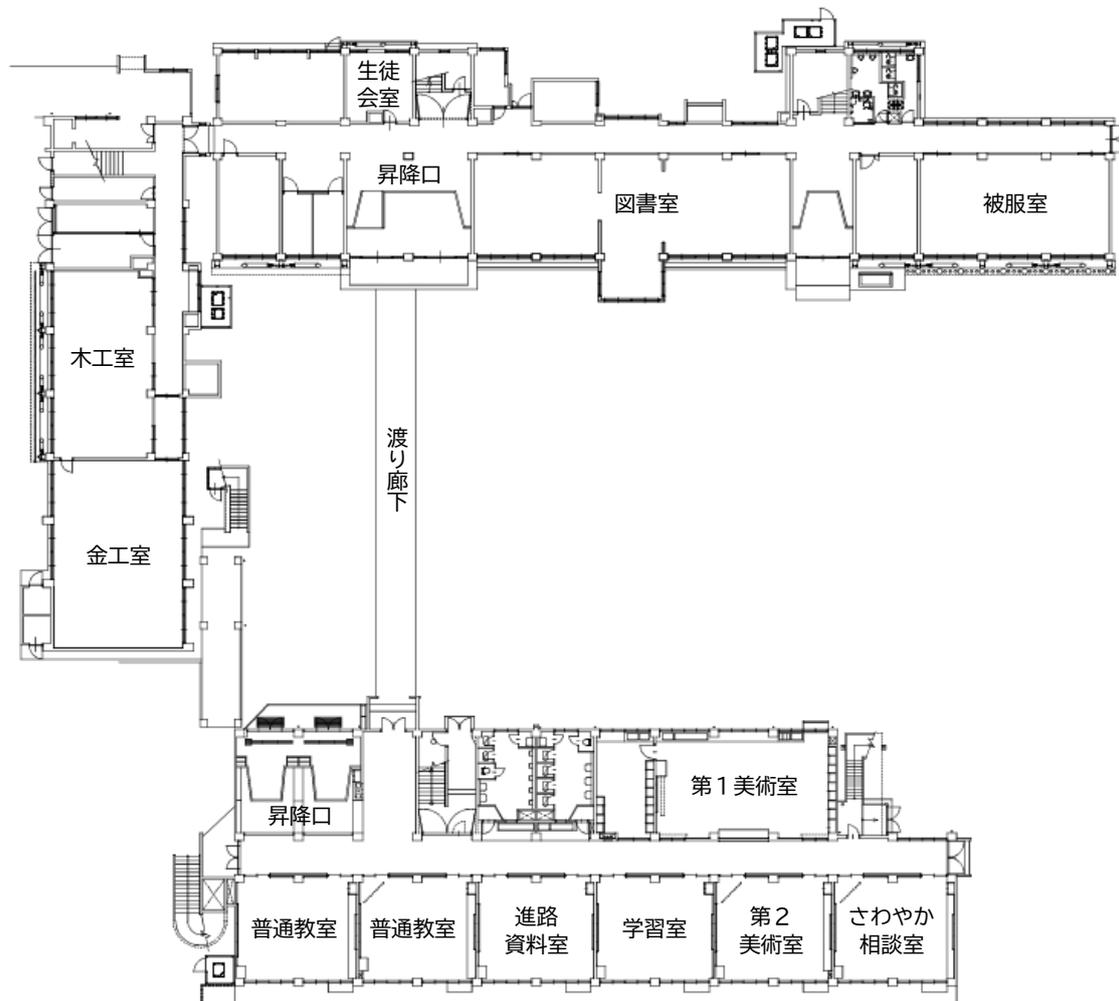
ア 既存校舎等の状況

施設の名称	建築年月	構造	階数	延床面積
① 管理・特別教室棟	昭和45年2月	RC	3	2,089㎡
② 普通教室棟	昭和52年2月	RC	3	1,069㎡
③ 管理・普通・特別教室棟	昭和58年3月	RC	3	2,158㎡
④ 屋内運動場	平成16年3月	S	1	1,031㎡
⑤ プール	昭和47年8月	-	-	-
⑥ 橋	昭和57年3月	-	-	-

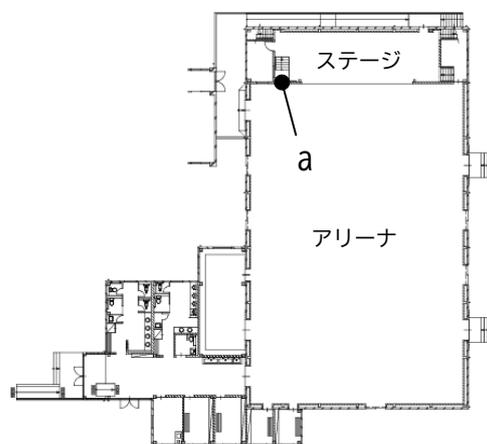


イ 既存校舎平面図

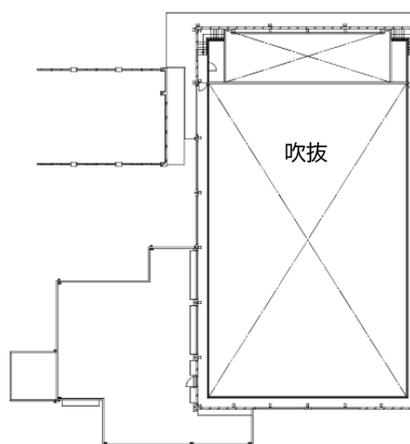
1階平面図



屋内運動場 平面図

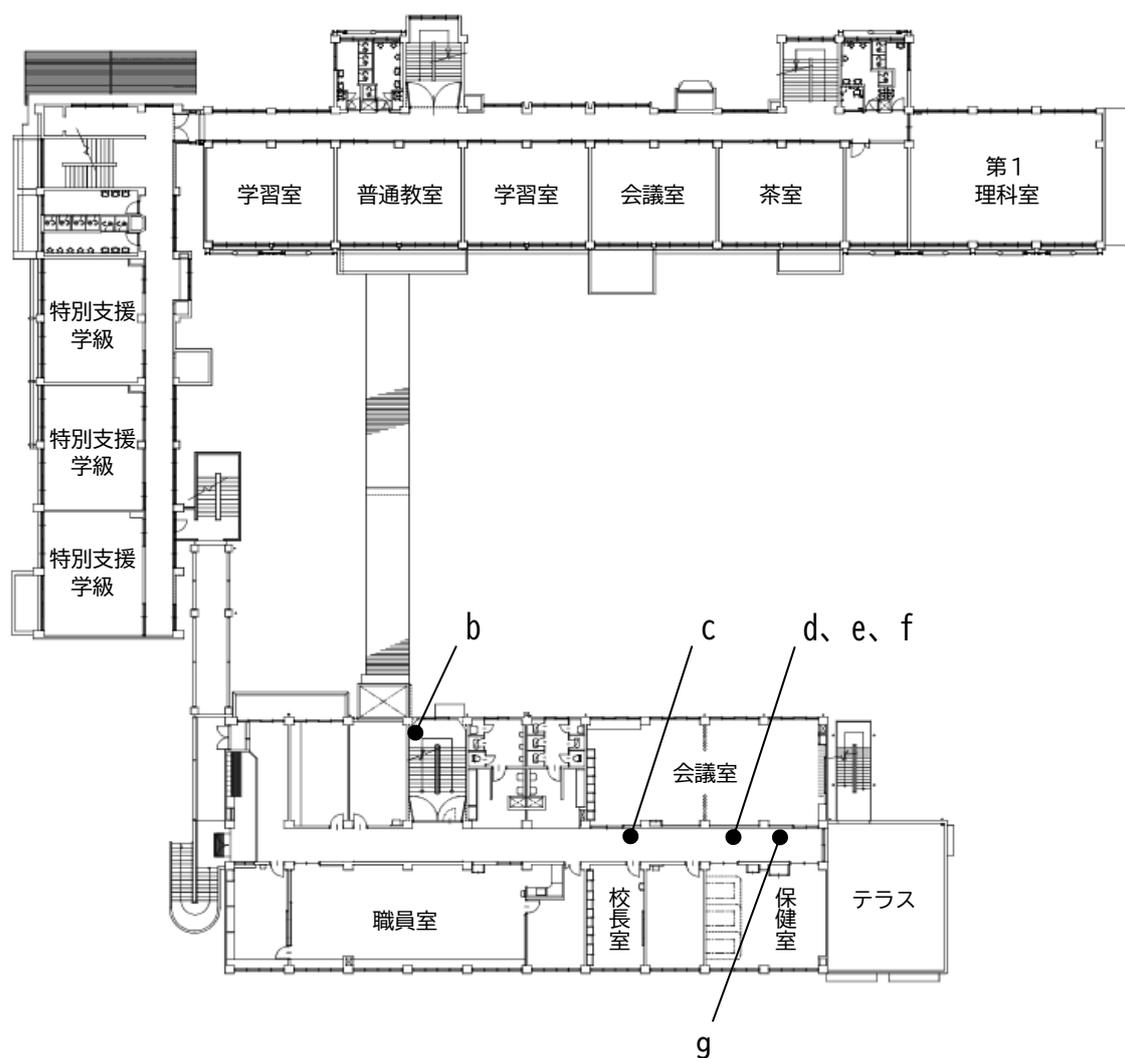


1階平面図

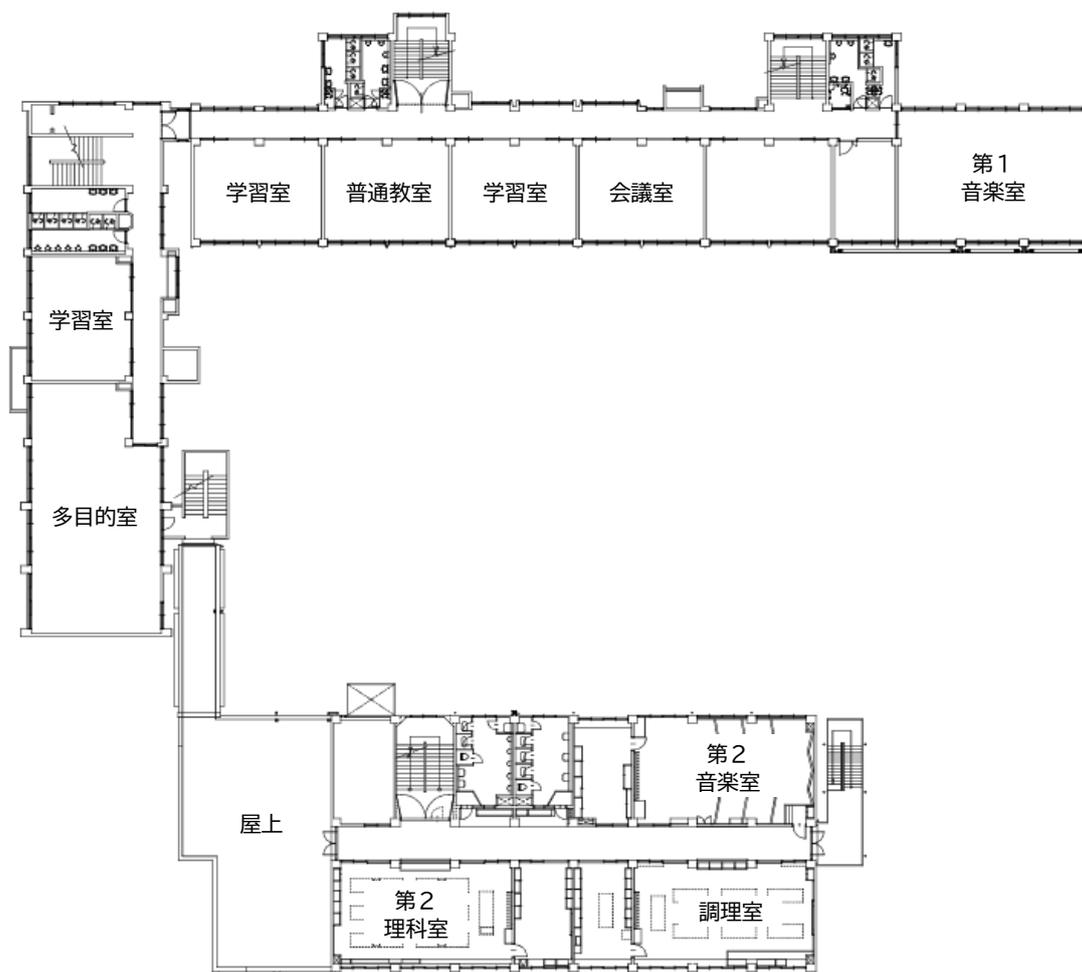


2階平面図

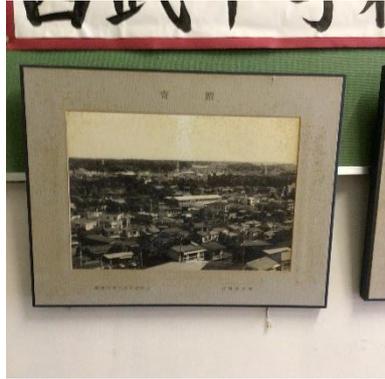
2階平面図



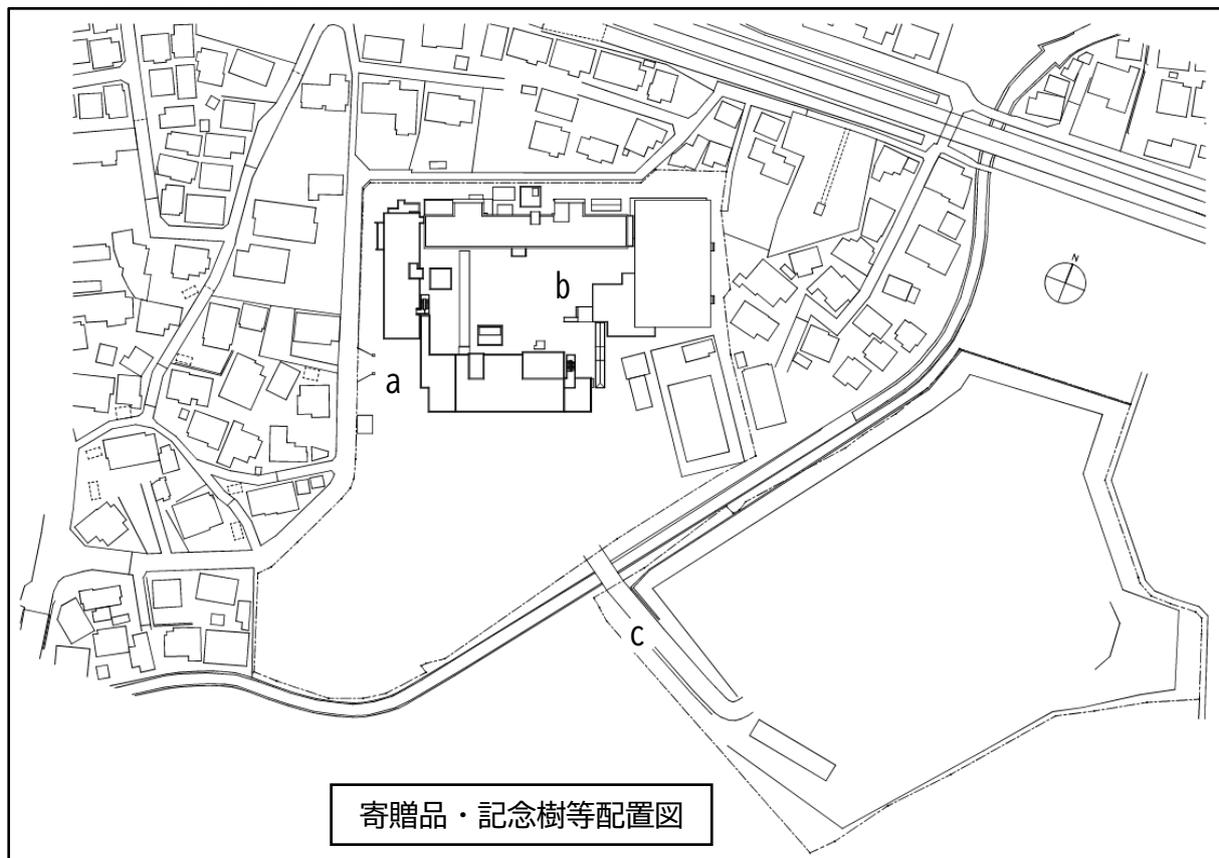
3階平面図



寄贈品等

<p>a : 平成 15 年度卒業生寄贈 校歌板</p>	<p>b : 昭和 60 年卒業生寄贈 鏡</p>	<p>c : 昭和 54 年度卒業生寄贈 棚</p>
		
<p>d : 年代不明寄贈 写真</p>	<p>e : 年代不明寄贈 写真</p>	<p>f : 年代不明寄贈 歴代PTA会長額</p>
		
<p>g : 昭和 47、59 年寄贈 歴任教職員額</p>		
		

ウ 寄贈品・記念樹等の状況



寄贈品・記念樹等配置図

寄贈品・記念樹等

a : 第 43 回卒業生寄贈 正門	b : 開校 50 周年記念樹 クスノキ	c : 昭和 52 年度卒業生寄贈 校歌碑

2. 計画条件

(1) 計画概要

公共施設マネジメント事業計画に基づく、西武中学校及び野田中学校の統合に伴い、「新しい時代の学び舎」を目指し、西武中学校の敷地を活用し校舎等の建替えを行います。また、外構及びグラウンドの整備も併せて行います。

なお、屋内運動場については、基本計画において建替えの有無について検討を行います。

(2) 生徒数推計

西武中学校及び野田中学校が統合する令和7年度以降の生徒数及び学級数の推計は下表のとおりです。生徒数は減少傾向であり、新校舎の供用開始を予定している令和11年度の学級数は、12となる見込みです。

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	166	5	135	4	153	5	158	5	136	4
2年	157	4	166	5	135	4	153	4	158	4
3年	147	4	157	4	166	5	135	4	153	4
合計	470	13	458	13	454	14	446	13	447	12

※ 令和5年10月1日現在の数値における推計

特別支援学級は除く

1年生は38人学級、2・3年生は40人学級

(3) 計画施設の予定規模

- ・延床面積 8,000㎡程度（屋内運動場含む）
- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・階数 地上3～4階建て

※ 詳細は基本計画において検討するものとします。

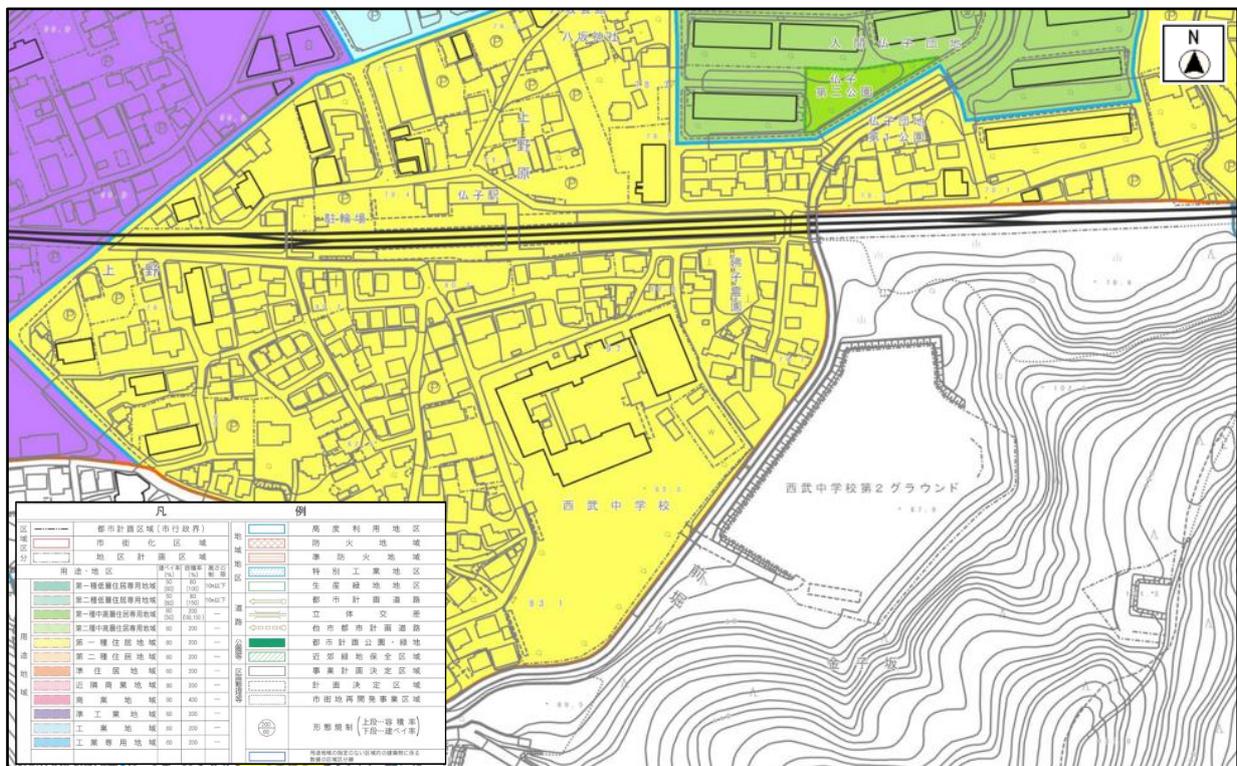
(4) 法規制等の条件

ア 地域・地区要件等

用途地域	第一種住居地域	市街化調整区域
容積率	200%	100%
建ぺい率	60%	50%
道路斜線	勾配1.25	勾配1.25
隣地斜線	20m+勾配1.25	20m+勾配1.25
日影規制	対象建築物： 高さ10m超 測定面の高さ： 4.0m 日影時間： 4時間(5mライン) 2.5時間(10mライン)	対象建築物： 高さ10m超 測定面の高さ： 4.0m 日影時間： 4時間(5mライン) 2.5時間(10mライン)
防火地域	指定なし	指定なし
地域地区等	建築基準法第22条指定区域	—

※敷地内の一部（前堀川沿い）は砂防指定地

【都市計画図】



3. 基本構想

(1) 目指すべき学校施設と整備方針

施設整備に向けた考え方として、令和4年8月に策定した「新しい時代の学び舎のグランドデザイン」に掲げた「新しい時代の学習環境の整備」と「地域とともにある学校」の実現を目指します。

(2) 新しい時代の学び舎のグランドデザイン

ア 新しい時代の学び舎のイメージ

(ア) 健やかな学習・生活空間

子どもたちの社会性・人間性を育む場として、ゆとりと潤いのある快適な空間を創造します。

(イ) 柔軟で創造的な学習空間

教室のみならず、学校施設全体を学びの場として、多様な学びの姿に対応できる空間を創造します。

(ウ) 地域とともにある共創空間

学校と地域や社会が連携・協働できる場として、交流できる空間を創造します。

(エ) 安心・安全な教育環境

未来を担う子どもたちの生命を守り、健やかに成長できるよう、すべての子どもたちが安心・安全に生活できる教育環境を目指します。

(オ) 地球環境に配慮した教育環境

2050年脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入を推進し、環境教育での活用や地球温暖化対策に取り組みます。

イ 新しい時代の学び舎に求められるもの

(ア) 個別最適な学びと協働的な学びができる教室

多様な学習形態や、子どもたちの学び合いを進めるため、次の設備等の整備を目指します。

- ・教室等の広さ・形の工夫
- ・大型モニターなどのICT機器の充実

(イ) 快適な生活空間

すべての子どもたちが快適に学校生活を送ることができるようにするため、次の設備等の整備を目指します。

- ・トイレの洋式化
- ・全教室へのエアコン設置

- ・バリアフリー化
- ・木質化

(ウ) 地域とともにある学校

地域の人々が集う学校、また避難所としての防災機能を強化するため、次の設備等の整備を目指します。

- ・会議室（多目的室）の設置
- ・体育館へのエアコン設置

(I) 地球環境に配慮した学校

環境負荷の少ない「人と環境が共生する“まち”」を次世代へつなぐため、次の設備等の整備を目指します。

- ・太陽光発電など再生可能エネルギーの導入

(3) 施設整備にあたって

新しい時代の学びの主役は子どもたちであり、学びの場となる空間もまた、子どもたちや教職員を抜きにして活力を生み出すことはできません。このことから、西武中学校建替え工事基本計画・基本設計においては、生徒が参加するワークショップやアンケートなどの方法で、子どもたちのニーズや希望を収集し、設計へのフィードバックを検討する取り組みを行います。このプロセスにより、子どもたちにとって魅力的で、学びやすい空間の実現を目指します。

4. 与条件の整理

建て替え工事を実施するにあたり、「3. 基本構想」の内容を基本とし、入間市学校統合委員会（西武地区中学校）において提出された提言書の内容を取り入れた独自の条件を加味した施設の整備を行います。

(1) 基本条件

ア 配置

- ・周辺環境に配慮した配置とします。
- ・生徒の安全に配慮した配置とします。
- ・生徒等との動線に配慮しつつ、地域との連携を考慮した外部からも利用しやすい配置とします。
- ・災害時においても安全性等を確保することができる配置とします。
- ・周辺道路と学校敷地の高低差を考慮した配置とします。
- ・緊急車両や大型バス等が安全に進入することができる配置とします。

イ 学習環境整備

- ・生徒が潤いを感じ、快適に学習・生活できる空間とします。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、多様な学習内容・学習形態による活動を可能とする環境とします。
- ・ICT環境を整備し、多様な学習活動に対応できる環境とします。
- ・バリアフリートイレやスロープ、手すり、エレベーター等の設置など、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設とします。
- ・将来の生徒数の減少に柔軟に対応できる計画とします。

ウ 内装

- ・木質化を行い、柔らかく温かみのある空間とし、生徒が豊かで快適に学習できる環境とします。
- ・生徒の多様な行動に対し、十分な安全性を確保した内装とします。
- ・維持管理等のメンテナンスがしやすい内装とします。

エ 外装

- ・周辺環境に配慮、調和した外観とします。
- ・耐候性や耐久性等に優れた材料を使用し、建物の長寿命化を図ることができる外観とします。
- ・維持管理等のメンテナンスがしやすい外装とします。

オ 屋外整備

- ・グラウンドは出来る限り整形とし、トラック200m、直線100mを確保する計

画とします。

- ・部活動や授業での使用に配慮した計画とします。
- ・恵まれた自然環境を生かした、四季の変化を感じられる、彩りのある緑化計画とします。
- ・冬季における第2グラウンドの霜等の対策を行います。

カ 構造条件

- ・生徒等が学習、生活等の場として1日の大半を過ごすだけでなく、地域住民等が利用することも考慮し、十分な安全性を確保する計画とします。
- ・避難所等としての機能を確保するため、大地震後、構造体等の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、耐震性の目標水準を「構造体：Ⅱ類、建築非構造部材：A類、建築設備：乙類」とします。
- ・天井材や照明器具等の非構造部材について、落下・破損等の防止に配慮します。

キ 設備

- ・自然環境を最大限活用しつつ、地域の気象条件や建物規模等を考慮し、適切な設備を整備します。
- ・普通教室、特別教室、屋内運動場などに空調設備を整備します。
- ・生徒等が安心して学習・生活できる衛生環境を整備します。
- ・省エネルギー型の高効率照明器具や空調機器、全熱交換器等を導入するなど良好な室内環境を確保する計画とします。
- ・維持管理等のメンテナンスがしやすい計画とします。

ク 防犯計画

- ・周囲からの見通しや職員室等の配置に配慮し、非常時に即応できる計画とします。
- ・不審者等の侵入防止や犯罪防止等のため、防犯カメラの設置や機械警備を活用し、犯罪を未然に防ぐことができる計画とします。
- ・校門と管理諸室を繋ぐインターホン設備やオートロック等の設置を検討します。
- ・学校開放等、学校施設を地域住民等に開放する場合は、非開放部分に部外者が入ることができない計画とします。

ケ 防災計画

- ・防災倉庫を設置します。
- ・マンホールトイレや、かまどベンチ等の設置を検討します。
- ・避難所としての防災機能を強化するため、非常用発電機や太陽光による蓄電設備、Wi-Fi等の情報通信環境などの整備を検討します。

コ 環境への配慮

- ・環境負荷に配慮し、ZEB Ready[※]以上のZEB認証の取得を目指します。

- ・脱炭素社会実現のため、屋根や外壁の断熱化や太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を検討します。
- ・木材利用を促進するため、内装の木質化を行います。

※ ZEB Readyとは、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物と定義されています。

(2) 必要諸室の構成及び規模

必要諸室については、2-(2)生徒数推計で示した生徒数及び学級数により規模を設定します。室数及び規模(コマ数)は目安とし、学校施設の形状、敷地や周辺環境の特性、関係法令等の条件を踏まえ、整備する室、規模等を決定するものとします。

1コマ：普通教室約80㎡を基本とする。

室名	室数	規模 (コマ数)	備考
普通教室等			
普通教室	12	1	
少人数指導教室	3	1	各学年1教室の整備を想定
特別支援学級	4	0.5	整備時の就学状況により算定する
特別教室			
通級指導教室	1	1.5	プレイルーム含む
理科室	1	2.5	準備室含む
美術室	1	2.5	準備室含む
音楽室	1	2.5	準備室含む
技術科室	1	2.5	準備室含む 金工室、木工室兼用
家庭科室	1	2.5	準備室含む 調理室、被服室兼用
図書室	1	3	メディアセンターとしての機能を検討
茶室	1	1	
多目的室	1	3	
管理諸室			
職員室	1	3	
事務室	1	0.5	
校長室	1	0.5	
保健室	1	1.5	
教育・進路相談室	1	1	
さわやか相談室	1	1	
職員用更衣室・トイレ	2	1	男女各1室
印刷室	1	0.5	

放送室	1	0.5	
会議室	1	1	
倉庫・教材室	1	3	総面積は、3コマ程度を想定
給食関係			
配膳室	4	0.5	4階建てを想定し、各階1箇所
生徒活動諸室			
生徒会室	1	0.5	
生徒用更衣室	3	1	各学年1箇所（男0.5、女0.5）を想定
地域活動関係諸室			
学校運営協議会室	1	1	
P T A会議室	1	0.5	
体育施設			
屋内運動場	1	14.3	校舎との一体型も可とする
部室	3	0.5	部活動の種類、数等により算出する
共用施設			
昇降口	2	2	
エレベーター	1	0.5	1基想定
トイレ、廊下、階段等	1	16.7	全体規模の25%程度を想定
屋外施設等			
屋外体育倉庫	1	1	
自転車置場	1	2.5	2㎡×100台

5. 建替えスケジュール（案）

本事業における、新校舎供用開始までのスケジュール（案）は下記のとおりです。

なお、建替えスケジュールは案であり、今後の事業の進捗状況に伴い変更となる可能性があります。

